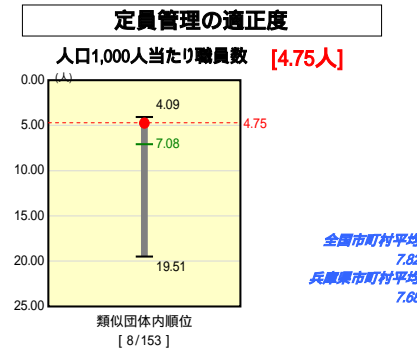
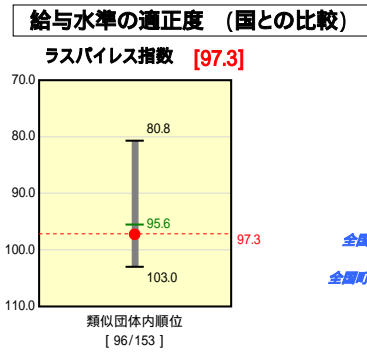
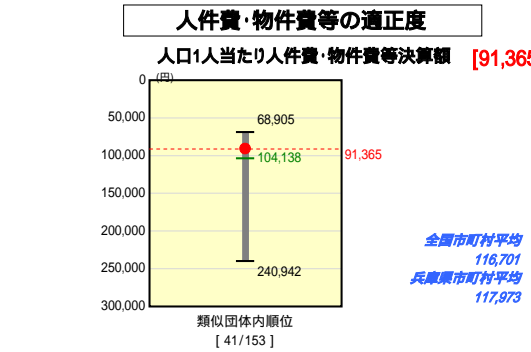
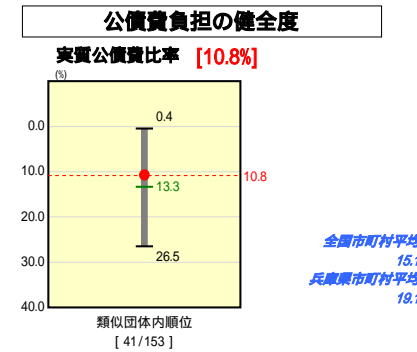
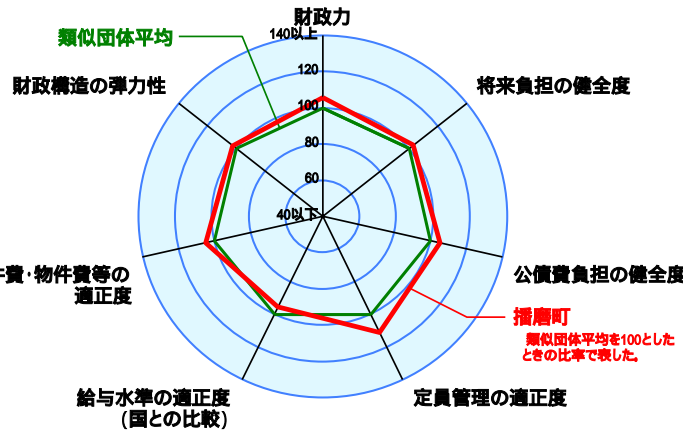
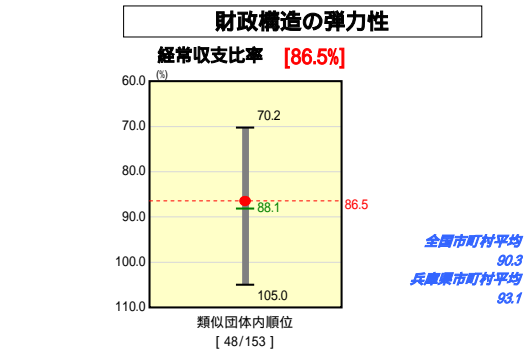
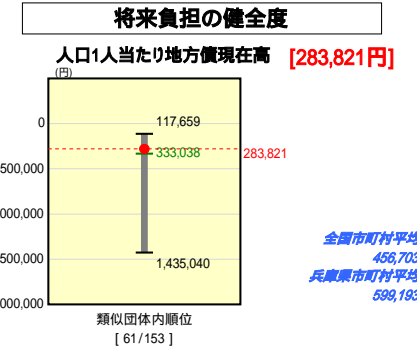
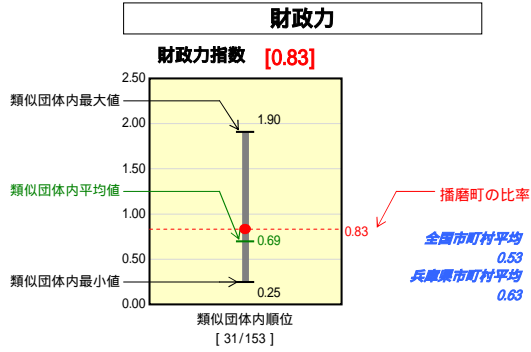


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 兵庫県 播磨町

人口	33,873	人(H19.3.31現在)
面積	9.09	km <sup>2</sup>
歳入総額	9,646,125	千円
歳出総額	8,851,703	千円
実質収支	654,369	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 総面積が他団体と比較して狭小ななか、1/3が工業専用の人工島であるという特殊要因がある。町税の収入のうち、その過半を占める固定資産税は、依然として減少傾向にあるものの、法人町民税、個人町民税が制度改正や景気回復基調により増収となり、当該数値も昨年度(0.80)に比べ0.03ポイント上昇した。

**経常収支比率:** 類似団体の平均より良い値となっているものの、分子にある扶助費、繰出金などの歳出の伸び(前年度比1.06%増)が、分母にあたる町税等の歳入の伸び(対前年度比0.18%増)を上回っており、結果として昨年度より0.7ポイント悪化する結果となった。今後も行政改革集中改革プランでの取り組みを通じて、義務的経費を削減し、上昇傾向の抑制に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費:** 類似団体と比較して低額となっているのは、し尿処理業務や粗大ゴミ処理業務、常備消防業務を一部事務組合や事務委託において実施していることや、退職者補充の抑制等の効果から1人当たりの額も昨年度(95,986円)より下がっている。今後も定員の適正化や事務改善を推進し、これらの値の抑制に努める。

**ラスパイレックス指数:** 類似団体平均と比較すると高い水準にあるが、定員管理の適正度等を勘案すると、現行水準は適正であると考え、今後も定員管理の適正化をすすめるが、指数の上昇を抑制し、現行水準の維持に努める。

**人口1人当たり地方債現在高:** 昭和50年代の人口急増に伴う教育施設等の整備に係る地方債の償還もほぼ終了することに加え、平成2~3年度にかけてゴミ処理施設整備の大規模事業の実施に伴い借入れた地方債の償還も今年度末をもって終了したことにより、類似団体平均より少ない額となっている。また、都市基盤整備も一段落した状況下、今後も残高は減少傾向を見込むが、地方交付税不足を補う臨時財政対策債の発行や公共施設の更新、少子高齢化対策など社会情勢の変化による新たな行政需要に対する借入については、今後も中長期の収支見込等を考慮しながら適切に財政運営に努める。

**実質公債費比率:** 主要公共施設整備や都市基盤整備が一段落した中で、残された主要事業や既存施設の更新事業に対しては、優先度の高い事業を取捨選択し、地方債の発行に際しても将来の償還を見据えた起債管理を実施し、将来の公債費負担の抑制に努め、現行の水準を維持するように努める。

**人口1,000人当たり職員数:** 全国・県内・類似団体と比較すると、少人数となっているが、今後も事務事業の整理・合理化をさらに推進し、全国的にも小さな経営規模である特徴点に見合った定数管理を継続し、職員数を平成17年度の195人から平成21年度で171人以下とする定員適正化計画に掲げる目標達成に努める。